

公共ホール音楽活性化事業
平成 30・31 年度登録アーティスト実地研修 実施要領

1 趣旨

平成 30・31 年度登録アーティストが、実際に公共ホール職員と協働してアウトリーチプログラムを実践することにより、アーティストの能力向上、ホール職員の育成およびクラシック音楽による公共ホールと地域の活性化に寄与することを目的とする。

2 対象団体

平成 28 年度以前に公共ホール音楽活性化事業を実施した団体（3～4 団体程度）

3 実施団体の決定

地域創造は、上記 2 の団体から提出された「公共ホール音楽活性化事業 平成 30・31 年度登録アーティスト実地研修 申請書」（別記様式）等をもとに審査し、実施団体を決定の上、当該団体に対して速やかに通知する。

4 実施内容

(1) 実施日程

平成 29 年 11 月から平成 30 年 2 月のうち、連続した 2 日間

(2) 研修会場

公共ホール及び域内小学校

(3) プログラム

① 1 日目：ランスルーとプログラムの作り込み

アーティストが自ら考えたアウトリーチの実演と、それに対するコーディネーターによる指導、アーティスト間及び公共ホール職員とのディスカッションなどを行い、アウトリーチプログラムを作り上げていく。

② 2 日目：アウトリーチの実践と振り返り

小学校でのアウトリーチを実際に行い、その後振り返りを行う。

<スケジュール例>

1 日目		2 日目	
	アーティスト A : アーティスト B		アーティスト A : アーティスト B
13:00～	現地入り・ミーティング @リハーサル室等	1 時間前	学校入り・リハーサル
		2 or 3 時限目	アウトリーチ : 見学
16:00～	ランスルー(演奏)	3 or 4 時限目	見学 : アウトリーチ
	見学	ランスルー(演奏)	昼食
18:00～	コーディネーターによるアドバイス ディスカッション @リハーサル室等	5 時限目	ミーティング(振り返り)
		6 時限目	振り返りミーティング

5 アーティスト

平成 30・31 年度公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト 8 組の中から、2 組程度のアーティストを公共ホールへ派遣する。

なお、派遣アーティストは、地域創造において決定する。

6 経費負担

下記経費を地域創造が負担する。

- ・ピアノ調律費（アウトリーチ会場で使用するピアノ）
- ・アーティスト旅費
- ・伴奏共演者旅費及び謝金・コーディネーター旅費及び謝金

7 提出書類等

本事業の実施を希望する団体は、別紙「留意事項」を参照のうえ、「公共ホール音楽活性化事業 平成30・31年度登録アーティスト実地研修 申請書」（別記様式）に実施予定会場のパンフレット等を添えて、平成29年9月25日（月）までに提出すること。